

ポリオ・プラス・パートナー・グループ

無任所 井上 暎夫  
コーディネーター

### 決議07-68

ロータリーのポリオ・プラス・プログラムの最終目標は、国や地元または国際的な組織や団体と協力、相談しながら、野生ポリオ・ウイルスの世界的な撲滅の証明を受けることである。

よって2007年の規定審議会は、国際ロータリーが以下を行うことを決議する。

・野生ポリオ・ウイルスの世界的撲滅の証明という目標が、当組織の最優先事項であることを確認し、承認する。

・野生ポリオ・ウイルスの撲滅が証明されるまでは、組織全体の他のプロジェクトを一切採択しないことを確認する。

(以下略)

ポリオの撲滅が、2002年までにWHOの6地域のうち、3地域で3種類のすべての野生型ポリオ・ウイルスについて証明され、ポリオ撲滅の実現が可能であることが改めて確認されました。

2006年、野生型ポリオ・ウイルスが存在するのはアフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタンの4カ国の小地域に抑えられました。

ポリオとの戦いは終わったという認識は間違いです。

いまこそ、ポリオ撲滅を完了させるため、

ロータリーが一丸となって立ち向かおうとする決意が、2007年の規定審議会の上記の決議であります。

ロータリーは1985年にこのプログラムを開始しましたが、以来20年以上を経過し、今日に至っております。

最終段階にきて、幾多の艱難が立ちほだかっております。

しかし、ポリオの撲滅はすべてのロータリアンの悲願であります。

ロータリーの真価を問われる本年に、地区内のロータリー・クラブ並びにロータリアンの皆様、特に2003年7月以降にメンバーとなられました皆様、私どもの目標達成に温かいご支援をお願い致します。

皆様のたゆまぬご支援があれば、私たちは、身をもって固い決意を示し、世界中の子供のために「ポリオのない世界」という最終目標を実現することができるでしょう。

(RI資料より)